

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600133
事業所名	グループホーム 向の山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 地域の行事を事業所の前の掲示板や、区の広報などでチェックし出かけている。農業センターや針名神社への外出は継続して行っている。地域の人より認知症の相談の電話が何度もあり、職員が丁寧に対応している。庭の整備や折り紙などのボランティアが新しく加わっている。近隣の人達に支えられながら、地域との関わりはますます深まっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 2ヶ月ごとに行われ、主な参加者は区職員、いきいき支援センター職員、婦人会会長、民生委員など様々な分野の人の参加を得ており、活発な意見交換の場となっている。認知症カフェや地域の情報収集の方法、法人の朝市イベントなど多岐にわたり話し合いを行い、参考意見をもらっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 区役所職員が会議に参加しており、情報交換の場となっており、連携できている。市や区のイベントや講習会には積極的に参加している。いきいき支援センター主催の「天白福祉まつり」には利用者も参加し、お祭りの雰囲気を味わった。法人の上司は認知症や管理者研修の講師も行っている。また、実践者研修や「地域のお年寄りをお助け隊」などの研修に出席している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 季節レクリエーションが年4回ほどあり、その際には家族の参加が多数ある。毎年行われている一泊旅行には、家族からの要望や意見を取り入れながら進められている。接遇やケアの満足度のアンケートを取り、職員の接遇のことで意見が出て、早速接遇の強化を行った。各個人宛に「ほほえみだより」を毎月職員の手書きで、日頃の様子を知らせている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	○	○	○	○	○	◎				